

9月27日(土)
プログラム

SY3-1

シンポジウム 3「アフェレシスと医療安全」
Clinical safety and apheresis

血液ろ過器と血漿分離器の取り違い事故の概要と再発防止

京都大学 医学部 附属病院 腎臓内科¹⁾、京都大学医学部附属病院医療器材部²⁾
塚本達雄¹⁾、吉田和広²⁾、安馬雅範²⁾、柳田素子¹⁾

2011年11月京都大学医学部附属病院において、持続的血液ろ過透析(CHDF)回路交換時に血液ろ過器と膜型血漿分離器を取り違えたことに起因する医療事故が発生した。この事故の概要およびその後の再発防止策に関して、昨年の本学会シンポジウムにて発表し(SY8-1:血液濾過器と血漿分離器の取り違い事故後における当院の再発防止策)、論文化した(日本急性血液浄化学会雑誌4、p148-153、2013)。まず、CHDF回路交換を24時間安全に施行するために事故6ヶ月後から臨床工学技士(CE)の当直体制が開始された。当直CE業務の80%は夜間のCHDF回路交換であるが、血液浄化を専任としている当院のCEは当直業務を免除されているため、血漿交換や小児用回路など当直CEでは対応できない機器を扱う場合には夜間・休日の呼び出しとなる。このため当直CEが対応できる血液浄化機器の機種統一も検討されているが、実現できていない。一方、血液浄化器取り違いに関しては接続不可となるような規格変更が望ましい。この点に関しては秋葉先生が中心となってメーカーおよびPMDAとの意見交換が開始されており、今後新たな規格が設定される可能性がある。また、CHDF施行中の設定に関しては現在のところ担当診療科医師の指示の元に行われているが、年々CHDF機器設定ができる医師が減少していることから、医師側のレベルアップとして診療科毎の講習会も継続している。このように、事故の概要だけでなく、その後の再発防止策も含めた情報共有が非常に重要と思われ、本シンポジウムでは事故後に始まったこれら再発防止策の現況に関して述べる。

Measures to prevent recurrence of the critical incident by mix-up of hemofilter and plasma separator

Department of Nephrology, Kyoto University Hospital¹⁾, Linen and Appliance Supply, Kyoto University Hospital²⁾
Tatsuo Tsukamoto¹⁾, Kazuhiro Yoshida²⁾, Masanori Annma²⁾, Motoko Yanagita¹⁾

利益相反：なし

9月28日(日)
プログラム

特別企画

特別講演

教育講演

大会長講演

シンポジウム

ワークショップ

アフエレシス
ミニアレキチャーAsian
Sessionシンポジウム
技藝

技術講習会

モーニング
セミナーランチ
セミナー

一般演題

索引

SY3-2

シンポジウム 3「アフェレシスと医療安全」
Clinical safety and apheresis

血漿分離器取り違い事故対応

公益社団法人 日本臨床工学技士会¹⁾、医療法人社団善仁会本部²⁾
本間崇^{1,2)}

国民に対し安全な治療を行うためには、医療機器の使用に関する知識を向上させることが不可欠となっている。2011年11月に、持続的血液濾過透析を受けていた患者に対し、持続緩徐式血液濾過器を交換する際に本来使用する濾過器の代わりに血漿分離器が誤って使用され、患者が死亡した事故が発生した。この事故を受けて当会は、2012年5月の第22回日本臨床工学学会において緊急ワークショップを企画し、持続的血液浄化療法の安全対策について討議し、会員への周知徹底をはかってきた。また、「医療機器の取り違い事故に対する対応を検討する会」に参画し、事故要因と対策案について検討を重ねてきた。この事故の主な要因は、血液浄化療法とアフェレシス療法に使用されている各種浄化器の同一形状と使用者の知識・確認不足により起きている。この検討会において、各種浄化器の同一形状に問題があり、本来使用すべき療法以外には使用できないようにする対策が検討され、血漿分離器のDポート接続部の形状を変更すべきであるとの結論に達した。当会の取り組みとして、事故が起きる要因は、大半がヒューマンエラーにより発生しており、使用前や操作中の確認・観察を十分に行うことにより、そのリスクを低減されることから、「医療機器安全管理指針」を発行し、啓発に努めてきた。また、今年度は、医療機器の安全使用・操作に関わる医療機器の教育が重要であることから、医療機器の安全使用のための医療従事者への研修が実施できるように「医療機器安全使用のための教育指針」(仮称)の発行を予定している。

prevention of an accident to mistake hemofilter for plasma separator

Japan association for clinical engineers¹⁾, Medical Institute Zenjinkai²⁾
Takashi Honma^{1,2)}

利益相反：なし